

広報  
258号

# 東京都製紙原料協同組合

発行所  
東京都製紙原料協同組合  
台東区台東3-16-1  
TEL (3831) 7980~1  
発行人 近藤 勝  
編集広報委員会



4月はじめに新宿御苑では1500本のソメイヨシノが繰り広げる華麗な花模様がやってくる。  
城南支部 (株)梶谷商事 梶野 泰 一

## 〈 主 な 内 容 〉

時の視点		〔新年会開催〕	中央支部長 菊池武美	11	
偽装問題から	理事長 大久保信隆	2	〔新年会開催〕	城南支部長 坂田 智	11~12
静岡県紙業協会家庭紙部との懇談会		3~6	組合員の広場		
第5回合同新年会開催	広報部副部長 脇 克美	6~7	「中国長期出張の思い出」		
東京返本加工協同組合 新年会開催	事務局	7~8		荒川支部 側富澤 廣田栄一	12~13
集荷部委員会及び新年会開催			支部スケジュール		13
	集荷部副部長 石橋駒雄	8	お知らせ		
青年部主催 大王製紙三島工場見学			「3月4月会議・催事予定」「古紙価格」「計報」		13~14
	青年部 持永 毅	9~10	会議概要〔1月・2月〕		14~20
支部便り			編集後記	広報部副部長 高橋宏明	21
〔新年会開催〕	江島支部 埜島昌利	11	広 告		22

## 時の視点

### 偽装問題から

東京都製紙原料協同組合

理事 大久保 信隆

本年は人類が早急に取り組まなければならない課題の一つ「地球環境問題」が北海道の洞爺湖でサミットが行なわれるのでCO2問題でパルプと古紙のことを言う人が出て来ます。我々もしっかりと答えられるようにしておかないといけないと思っていました。

年明け早々製紙会社の古紙配合率違反という大変なニュースが飛び込んで来てびっくり仰天いたしました。なぜ2010年経済産業省へ示した目標の回収率72%利用率62%向かっている中07年回収率は73.6%とオーバー利用率61.2%と近づいているのに、偽装をしているのか、大手各社が皆行なっているなんて、信じられないが第一印象でした。回収業界は目標以上に環境を良くしようという懸念集めているのに各製紙会社共良い設備備えているのに何故だと思っていました。そ

して新聞やテレビ報道では古紙配合率偽装の背景について、私は技術的な問題や品質の問題が焦点になっていくと思っていたところ矛盾が我々製紙原料商に向かってきました。

「古紙高騰、偽装断てず」という見出しで中国の需要増大で古紙の争奪戦で行き過ぎてコストアップになり、配合率を下げたなどちんぷんかんぷんな記事が大きく載りました。一般の人たちには紙と板紙との違いが解る人は少ないです。新聞紙でどんな紙でも再生できると思っっている方が大半ではないか、新聞では上質紙は出来ません。正確な報道を信じてもらわなくてはなりません。ゴミ減量のため我々は潤沢に量を供給すれば良いと思いつぎたのでは特に雑紙回収で新しい品種を作り、自治体には良い子になってゴミの移送を回収はじめてたのではないだろうか。近年製紙会社は我々にゴミの処理が大変だといっております。私も原料商ですから余裕をもった供給者にならなくてはいけないのが2300万トンの古紙は小企業にとっては団結が無いと無駄な過当競争を呼び起こし処理が大変です。そんな中、これから東京都製紙原料協同組合の活動の役割は大きな力となります。幸いに今、中国市場という巨大マーケットの出現によって古紙価格の復元が出来

ると同時に世界資源高と重なり輸出が高止まりとなつてしまいました。価格は需要で決まりますし、国内価格に問題点がありますが、ここで忘れてならないのは品質です。古紙は一定の繊維を売ります。今回の偽装問題で我々が長い間、製紙メーカーに簡単に原料を集めすぎたことが、製品にあった原料が集まらなくなつたと思います。又生産にあつた原料は高くなるので注文しなかつたのではないのでしょうか。去年から今年に印刷情報用紙の大変型マシンが4台稼働いたします。原料対策大丈夫でしょうか。また小さいところが心配をすると言われますね。しかし配合表示通りに行なうには製紙会社が必要な原料をこれくらい集まるか我々に明示する必要があるのではないのでしょうか。原料屋は集めることが第一で原点に帰って選別を確りやって良い品物を供給することです。ただ古紙はいつでも余剰になつた時に大変ということをお忘れなく。

## 静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

〔平成20年2月19日(火)午後4時〜〕於  
東京上野「精養軒」

出席者… 静岡県紙業協会家庭紙部会14名

(内、家庭紙メーカー13名)

静岡県製紙原料商業組合7名

東京都製紙原料協同組合23名

### 三団体代表挨拶

イデシギヨー(株)井出代表取締役会長

〔静岡県紙業協会家庭紙部会〕

毎回静岡で開催していた会議が、今回、初めて東京開催となり、実現されたことに對し感謝しております。

古紙配合率偽装問題で、大手メーカーが決められた量の古紙を使っていない事が解りました。驚いたのは、大手メーカーが本当に古紙をきちんと使ったら、家庭紙メーカーが使う古紙が足りなくなってしまうのではないかと思われます。それだけ今、家庭紙の方では古紙の入荷が逼迫している状況です。大手メーカーでは、再生紙に古紙を多く使用した場

合、品質面で技術的に難しいことが多く、今後、会合等で検討していきたいとの考えだと聞いております。家庭紙メーカーと原料問題さんとは、古くからのお付き合いもあり人間関係も出来ていると感じております。ここ1年半前からの古紙価格の上昇は、他の資源、鉄鋼関係等の不足と同じように上昇しており、これからも皆さんと一緒に考えていかなければならない問題だと思っております。

近藤理事長 〔東京都製紙原料協同組合〕

今回、初めてこの会が東京で開催となり、大変遠いところ、おいでいただきありがとうございます。本日は、集荷部から6社が参加しており、現在の状況と集荷の立場から色々な発言をしていただきたいと思っております。古紙の輸出量が、昨年始めてマイナスとなりました。昨年後半は、国内メーカーさんが価格対応された事で大きく引き戻されたかたちになりました。価格がこれほど大きく流れを変えてしまうことをあらためて痛感いたしました。今年は北京オリンピックがあるにも関わらず、国内の紙、板紙の需要予測が100%と横這いになってきております。ここにきて各

社とも頭打ちの感があり、出版不況も加わって古紙の発生は今年も、あまり期待できそうにない心配だと感じております。古紙価格が国際価格になったと近年言われていますが、是非とも製品価格も適正価格になっていただきますよう、又、両業界が今後とも存続、繁栄していけますよう祈念しております。

佐藤理事長 〔静岡県製紙原料商業組合〕

今回、会議を東京で設定していただきありがとうございます。東京は、広い地盤で大量を扱っているので、こういう場で率直な意見、情報の交換を行う事は意義のあることだと感じております。

サブプライムローン問題をかわきりに世界的な規模でリセッションが進むのではないかと意見が出ています。中国からアメリカに對する輸出が減少していく。中国の輸出が減れば、日本からの輸出も減っていくという連鎖が起きてきて、古紙の動きも、どういう風になっていくのか、腰の落ち着かない状況となってしまうこととなります。家庭紙もこの先、どういふ風な動きとって行くのか慎重に見極める必要があると思われれます。

## 家庭紙メーカーの現況について

井出会長・里和部長

〔静岡県紙業協会家庭紙部会〕

ティッシュ製品の関係は大手が主導で動いています。昨年から原料価格を上げているがパルプの上げが早いのが現状であり、製品の価格修正をしなくてはならない状況になってきている。動向については、明るい状況になってきている。

製品価格は、再生紙のトイレットペーパーの価格修正について1月中旬に発表がありました。年明けはスケジュールどおり進まなかったが、ここにきて変わってきているようである。中小の代理店・小売店に対しては2月初め頃から実施できてきているところがあり、それ以外では3月初めには出来てくるのではないかと聞いている。大手のドラッグストア等は難航しているようである。全体的には、かなり進んでいるのが現状であり、大手が揃うのは4月頃のように感じている。クオリティの高いトイレットペーパーは、現在より高い価格になるのではないかと言われている。次にセカンドクラス物。その下がブランド物（パルプと古紙）。今年は、特売とか安

売りを切り上げるのではなく全体的な価格体系の中で価格修正をしていくようにしたいと考えている。これをしていかなないと大手とのシェアと我々のシェアの偏りが出てしまうので慎重にすすめて行きたい。大手と歩調を合わせながらやっていくよう考えている。

## 古紙全般の市況について

赤染直納部部長

〔東京都製紙原料協同組合〕

全般的に古紙は、全て足りない状況である。裾物3品は中国と日本のメーカーが取り合いとなっている。昨年の輸出量は、現実には386万トンであり、国内の余剰分を輸出している。新聞、段ボール古紙については、价格的にスポット価格が出ており、大手洋紙メーカーは新聞その他の材料を買い始めている。古紙の輸出価格は現在、上昇している。家庭紙原料は年明け出版、印刷業界が不況であり発生が悪く、大手洋紙メーカーのDIP稼動により引き合いが強い。東京協組で行っている共販輸出ではケントで2月は前月より1円上昇している状況である。

## 家庭紙原料について

小林直納部副部長

〔東京都製紙原料協同組合〕

昨年10月に、この会議が富士で開催された際、産業古紙及びオフィス古紙の発生状況の平成18年と19年の比較を説明しましたが、その時、以降も同様に比較しましたので説明いたします。前回では、説明で前年割れの在庫水準でなくなりましたが、それ以降も発生状況は低調のまま今日にいたっております。今年1月の正月明け以降、瞬間的に古紙全般の出荷は順調でありましたが、1月中旬以降発生低迷により納品のキャンセル及び順延が出ていると聞いております。2月の発生も1月同様低迷のまま推移している現状で家庭紙メーカー向けの納入に関して大変ご迷惑をかけ心苦しく思っております。今後の古紙の発生について3、4月の発生増に期待したいと思っております。この期の発生量が微量のまま推移していきますと、今年の産業古紙のタイト状況が続くと思われます。さらに大手洋紙及び板紙メーカーの増量計画が出てきますと、価格もこのまま推移するとは思われず、再度価格上昇の市況になるのではないかと懸念しております。

### 集荷部より

官崎集荷部長

〔東京都製紙原料協同組合〕

昨年来までは低調時期が続いたが、昨年より小幅な価格修正があり少し、息がつける状態になってきていると思われる。しかし、印刷製本の不況、少子化による学校関係の出版物のほとんどが3分の1ぐらいになってしまった。この影響で、さらに発生が減ってくるのではないかと思われます。集荷の仕事を持続性をもって出来るようにするには、今の価格を安定して持続していただき、製品もそれに伴った価格に修正していただき、この状況をさらに続けていってもらいたいと感じている。

### オフィス古紙について

高橋委員

〔東京都製紙原料協同組合〕

発生は、かなり落ちています。コピーや印刷が減ってきているためだと思われる。平成18年度の23区のごみの収集量は、3,333,618トンと前年に比べ1.7%の減少。その内、可燃ゴミは1,645,297トンあ

り45%が紙で眠っている。又、平成18年度の行政回収及び集団回収が551,758トンあり前年と比べ2.9%増加している。内訳は、ほとんどが新聞、雑誌、ダンボールだが、牛乳パックが約148トン回収されており、その他に色上、模造、チラシも306トン回収されている。これに事業系をプラスすると、少し増えてきているのではないか。可燃ゴミの約45%が紙であり、これからは、家庭から出るシュレッダー類も活用したいので、いかに資源の方に回ってくるか期待したいと思っている。

石原理事〔静岡県製紙原料商業組合〕

家庭紙系を集めているが、チラシ、色上、ケントの中でチラシがだいぶ減ってきている。新聞の発行部数が減り、折込チラシが減っている。トイレット製品の製造が減り使用が増えている。価格については、今までは家庭紙メーカーと原料問屋との間で決まってきたが、ここに来て海外の相場が主として価格が動いている。

二見委員〔静岡県製紙原料商業組合〕

現在、富士の家庭紙メーカーが色上、模造等の製紙原料が何トン使われ何社が受けている

のか等のデータをご提供いただけるとありがたい。データ分かることにより、すみ分けができ、製品に使用されている古紙の量が把握できる。データがある事により、古紙の種類、選別、価格等の必要に応じた利用ができ、反映することもできる。古紙再生促進センター等の機能もあるので何らかの形で利用できないものか。

〔質疑応答〕

G (原料側)・M (メーカー側)

Q G... 古紙配合率偽装問題でトイレットロールの製品価格修正に影響が出ているのか。

A M... 大手は、トイレットもティッシュも一緒に行っているが、家庭紙は大手とは別に分かれて行っている。したがって、大手の古紙配合率偽装問題で家庭紙が受ける影響はないといえるのではないかと。

Q G... 前回の会議でお願いを申し上げた

件で、一部の製紙メーカーが機密書類を扱う原料問屋の取引先に直接、営業をかける事例があった。静岡

協組より文書にて取りやめていただくよう申し入れをしたが、その後の進捗についてお聞きしたい。

A  
M:

この件は、紙業協会の理事会に提案され話し合いをした。問題のあるところは、そこで話し合いをしてくださいと言っている。協会のメンバーの中で、そう言うことを言うのであれば100%原料を入れてもらえるのかとの意見も出た。細かい部分を解決するのであれば、紙業協会と静岡協組との団体同士で話し合いの場を持ちたいと考えている。

Q  
M:

家庭紙メーカーは、上質系の古紙が必要である。しかし、入ってくる量が少ないと製品が作れず又、価格上昇の原因にもなってしまう。古紙の集荷先の掘り起こしについてご検討いただけないか。

A  
G:

相場は需要で上下する。集荷するにあたってはコストがかかるので、選別費を含めた改善策を上層団体に問題提議してみたい。

## 第5回 合同新年会を開催

広報部副部長 脇 克美

1月26日(土)当組合では第5回となる合同新年会を池之端「東天紅」にて開催いたしました。年を追うごとに参加人員もふえ、今年は123名の出席となりました。当日は大柴文京支部長の司会により、午後6時に開演され、近藤勝当組合理事長、またご来賓代表として栗原正雄全原連理事長のご挨拶を頂き両理事長とも今年の当業界への課題と力強い発展への抱負のお言葉を頂きました。続いて畑俊一東り協会長に乾杯のご発声を賜り、宴が開かれました。

しばらくの自由歓談があり今年のアトラクションはマジックショーでした。私自身はテレビで見るといってマジックはあまり経験が無かったのですが、数人の組合員の方々もステージに上がり軽妙な演技をしていただき、十分楽しめました。次は恒例の各支部代表によるカラオケ大会です。青年部の司会進行により、お酒のほうも大分まわってきて宴もたけなわの中、各支部のみなさんはヤンヤの喝采を浴びながら、歌い上げていらっ



しゃいました。毎回思うのですが同業とはいえ、普段あまり顔を合わせることの少ない他支部の方々たとえ言葉をかわさなくとも組合員としての一体感が生まれてくればいいと思います。

宴会も最高潮となってきましたが、広神十七七相談役の中締めご発声があり、各支部長が壇上に入り菊池中央支部長の挨拶により閉会となりました。多くの方々がそれぞれ二

次会で盛り上がったと後で聞いております。来年の開催も決定しております。また、今年には組合創立60周年にあたります。記念パーティーを10月24日(金)に「精養軒」にて開催する予定です。是非、より多くの皆様の参加をお願い致します。自分達の為の組合なんですから。

### 東京返本加工協同組合

## 新年会開催

事務局

東京返本加工協同組合(理事長・藤井康夫、略称TOM)は1月31日(木)18時より、上野・精養軒に出版販売会社幹部等の来賓を招き組合員との懇親会を開催致しました。

挨拶に立った藤井理事長は蓮田の地に拠点を移し早くも5年の歳月が経過したが、組合員並びに役職員の努力により業務も順調であり、昨今の安定した古紙価格により業績もまずまずの状況となっている、日販様、出版共同流通様との連携も強固なものであり、本席にご来臨頂いている高見社長様を始めとした幹部の方々にもこの場を借りて感謝申し上げます。たいの謝意が話されました。

来賓挨拶では高見吉弘社長(出版共同流通株)、日販・常務取締役)より出版共同流通

は5期目の決算を終えたがお陰様で初めて黒字決算をすることが出来た、このことはTOMさんの協力と支援がなければなし得なかった、両者の連携は大きな力となった、今後は更にニュービジネスに果敢に取り組んで行くがごきんの更なる協力が必要と考えているので宜しくお願ひしたいと結ばれた。

東京都製紙原料協同組合・近藤勝理事長は業界団体の現況でのタイムリーな話題を上げ、古紙価格が安定した今こそ本来の業務を緻密に分析し、更なる飛躍に繋げる努力をしなければならぬと辛口なご挨拶を頂きました。乾杯の発声は出版共同流通株中山剛専務取締役より製紙業界、出版業界、来会者のこの1年の益々の健闘を誓う杯が上げられました。

会は懇談の後、恒例の初参会者によるカラオケによる自己紹介パフォーマンス、初夢福袋抽選会となりました、精養軒・ディナーペアチケツトは出版共同流通株出井課長が見事にゲットし、仲間より誰と行くのかとヤンヤの喝采を浴びることとなりました。

約2時間の会は各所で情報交換の輪が広がり、今後の組合活動にとって貴重なものとなりました、工藤裕樹渉外担当理事の中締めの挨拶で会は無事散会となりました。

## 集荷部委員会及び新年会開催

集荷部副部長 石橋 駒雄

2月16日(土)上野御徒町 旬菜「圭」に於いて、新年懇親会を兼ね集荷部委員会が開催されました。本部より清水副理事長、赤染直納部長、小林・上田両直納副部長、夏目専務理事をお迎えし、各位にそれぞれ市況動向、19日に迫った家庭紙メーカーとの三団体懇に向けての対応協議等々お話し頂き、意見交換の後、やや遅ればせの新年宴会に入りました。

開宴に先立ち、清水副理事長よりご挨拶を頂き、集荷の松井副理事長の乾杯の音頭が始まり、やや手狭な会場ではございましたが、それが又集荷部らしい空間で、きれいな所も入り、本部役員の皆様とも非常に和やかな雰囲気の中、楽しい宴席を持つことが出来ました。皆様には大変お忙しいところ御臨席頂き、誠にありがとうございました。

青年部主催

## 大王製紙(株)三島工場視察記

青年部 持永 毅

松本光春商店の旅行部門であるサンワールドラベル長野さんにアテンドをお願いし、平成20年2月22日(23日の予定で、近藤理事長をはじめとする組合員24名で大王製紙三島工場を視察しました。以下はその記録です。

2月22日(金)

7:00羽田空港出発ロビーに集合、8:05NH531便にて高松空港へ出発。約1時間半のフライトで9:30高松空港へ到着。そこでサンワールドラベル長野さんと合流、バスで琴平へ向かいました。

10:30金刀比羅宮の階段登りに挑戦。ほぼ全員途中の書院(477段)辺りまで行きましたが、2月なのに汗をかく程の運動量。中には上着を脱いで上り下りをしている人もいました。本宮までは800段弱有り、奥社までは1、368段もあるそうです。帰り道、地元(すこい!)の学生がトレーニングで階段を上っていました。

ひと汗かいた後は昼食です。香川と言えばやはり名物の“うどん”。かしこまったレストラン

ではなく、大衆食堂の様な雰囲気のお店でうどんを堪能。とにかく安くておいしい!大盛りでも500円でお釣がくる程の安さでした。

さて昼食を終えていよいよ目的の大王製紙三島工場の見学です。

技術開発本部7階の会議室に於いて、同社資材部の神代部長代理の説明を受けました。また、今般の視察には、資材部第三課の平方課長代理、東京紙バルブ交易株式会社の田口部長・川口氏にもお立会い頂きました。全般的な説明の後、N10マシンまで移動し、古紙ヤード(生産ラインまで視察させて頂き、最後に技術開発本部6階の展示スペースにて商品や原料の展示品を見せて頂きました。以下は視察概要となります。

### 全体

- 敷地: 約170万㎡(東京ドーム36個分)
- 生産量: 230万t/年(川之江工場含め)
- 単一工場ではトップクラスの生産量
- 立地: 国道11号線を挟んで展開しており、瀬戸内海の埋立地に臨海工場を建設、石炭船やチップ船も停泊可能(10万t級OK)。

### 抄紙機

22台の抄紙機があり、N1・N2は板紙・ク

ラフト抄紙機、N3・N4・N5・N8は新聞抄紙機、N7はコート原紙を、N8はコート・チラシ用紙を抄いている。

### 発電

ボイラーは10台あり、50万キロワットの発電量が確保できる。これは広島市全域を賄うほどの発電量である。一部補助のため重油も使用するが、主燃料はバイオマス燃料・RPF・製紙スラッジなどを利用している。

現在はコスト面から一部夜間電力を電力会社から購入しており、自家発電100%ではない。

### チップ

チリ(自社植林)、カナダ、タスマニアなどから輸入

### N10マシン

特性: 抄紙 塗工までの一貫生産(オンライン塗工機)

仕様: VOITH社製(ボイト)、全長225m、回転数1、800rpm、生産量800t/day(24、000t/月) 30万t/年。ブレードコーター(塗工)2基、ロールコーター(微塗工)1基 切替え可能

原料: 3、000坪のヤードに約13日分のストック可能。雑誌・色上・上質古紙を使用。

離解: ツイン式のドラムパー(10rp

m)にて離解。450t/dayの離解能力があり、古紙同士の摩擦力を利用し、高濃度で離解している。異物はRPFへ。

・特記：日本製紙石巻工場のマシンとほぼ同じ(石巻工場にはブレードコーターはあるが、ロールコーターが無い)

データ

印刷用紙の出荷推移

	非塗工紙	塗工紙
1995年	356万t	503万t
2000年	310万t	667万t
2005年	291万t	673万t
2006年	287万t	685万t
大王製紙グループの古紙使用量		
2001年	175万t	
2005年	183万t	
2006年	196万t	
2010年	240万t(見込み)	

一通り見せて頂いた後、技術開発本部7階に戻り、10分間程度の質疑応答があり、視察を終了しました。

そこから一路道後温泉へ、17:00過ぎにホテルへ到着。一風呂浴びて宴会となりました。

2月23日(土)

2日目は観光組とゴルフ組に別れ行動、前日の皆さんの行いが良かったせいか(!?)こ

の日はとんでもない強風!東京でも春一番が吹き、交通機関に影響が出たとの事でしたが、四国もまた大変な風でした。

ゴルフも大変なコンディションで、打つ瞬間ボールが動いてしまうほどの強風でした。結果はさておき、名門コースを楽しくラウンドしました。

観光組とは空港で待ち合わせ。急いで空港に向かいましたが、結局強風による到着便の遅れにより、1時間余り遅れてのフライトとなりました。途中、今までに経験したこと無いほどのゆれがあり、ちょっと怖い思いもしましたが、19:00無事羽田空港に到着。そこで解散となりました。

今般、抄紙から塗工までの一貫生産(オンライン塗工機)を視察させてもらい、我々が扱っている商品がどのように使われているかを確認できました。また、データからも分かるように、今後益々古紙が必要であると感じました。

機会を与えて頂いた事に感謝すると共に、アテンドをお願いした長野さん、ご一緒させて頂いた組合員の方にこの場を借りてお礼申し上げます。

以上

## 支部便り

### 江墨支部 新年会開催

江墨支部 榎島 昌利

1月18日金曜日午後6時30分太平町吉野寿司に於いて新年会を開催しました。

当支部の新年会は夫婦同伴が原則です。今回は5組の同伴、そして支部員8名、コンパニオン2名の総勢20名で開会。始めに松井支部長の新年挨拶、石橋理事の乾杯で宴が始まりました。飲んだり食べたりと話に花が咲き楽しい宴席となり盛り上がったところで、毎年恒例の奥様方にお年玉の配布となりました。いつも喜ばれる一時幹事冥利につきます。束の間の楽しい2時間でした。最後に現価格の長期維持、そして支部員皆様の健康を祈念して那須野様の三本締めでお開きとなりました。支部員の皆様、そして奥様方のご協力ありがとうございました。

### 中央支部 新年会

中央支部長 菊池 武美

中央支部新年会は2月16日(土)午後6時より銀座アスター本店にて開催致しました。

当日は、土曜日で仕事終了後ということもあり、又、場所が中国名菜の為か、出席率が70%と参加者が多く大変盛り上がりました。乾杯の後、本部報告、60周年史への協力を依頼、会計報告、3月～5月の支部会スケジュール等を確認しました。

その後、懇親に移り、おいしい中華料理をいただきながら、自然に酒量も思いのほかすみました。(ギョーザはでませんでしたが)参加各社、出席者の情報交換を行ないながら和気あいあいと過ごし、あつという間に2時間が過ぎました。現在の経営状況が永く続くことを祈念して散会いたしました。

### 城南支部 新年会

城南支部長 坂田 智

毎年恒例の城南支部新年会が、2月2日(土)3日(日)一泊で熱海「ホテルニューさがみや」にて行なわれました。

今回の参加人数は12名で2日の14:30に東京駅

で集合し、幹事の平松さん会計の井出さんに車中での酒、つまみの買出しをして頂き、14:56のこだまで出発致しました。熱海まで時間程なので、乗り込んですぐにアルコールのピッチを上げましたが、調子が出た頃にはもう熱海のそばまで来ていました。この続きは宴会でとの思いを胸に、ホテル迎えのバスに乗り込み、温泉に入り、18時から楽しみな宴会との運びとなりました。食事は、品数も多く味もよく、酒もさらに進みました。そして坂田前副理事長よりビンゴゲーム用の賞金を寄附して頂き、大変盛り上がりました。

中締めは井出社長さんをお願いしてお開きとなりました。翌朝は東京で雪が積もっているとテレビで知り、皆おどろいて帰路に着きました。

## 組合員の広場

### 中国長期出張の思い出

荒川支部(株) 富澤 廣田 栄一

少し前になりますが、平成17年の7月より約1年間中国で過ごした時の事を書きたいと思います。会社の関係で江蘇省の南通市と言う所に行くヤードの技術指導員として長期出張することになり、中国人スタッフと近郊の業者を回つての仕入れ、ペーラー作業、クランプ、フォークリフトの扱い方などの指導をしていました。まず異国にいつて、衣食住の中で一番は食だと思しますので、最近問題になつてゐる食についての事を私なりに書いてみたいと思います。最初に現地の飯店、ホテルランクのちょっといいお店では、回転するテーブルに前菜から始まつて十数皿の料理が出てきますが日本の中華料理店で見ると料理は数皿で後は日本ではお目にかかったことのない料理でした。まずは習うより慣れるで全品試してみましたが、さすがに本場の料理は、口に合う物は少なかったです。辛いとか甘いとかの問題ではなく私には香菜がまずダメで

した。食べたときにあの独特の香りが口いっぱいに広がつて、そして鼻に抜けていく感じが今でも苦手です。後は全体的に油っぽく炒飯も油炒めのような感じで茶碗一杯がいいところです。次に会社での昼食ですが、現地の仕出し弁当を食べていましたがやはり油っぽく目玉焼きも油まみれの感じでした。少し食べてみて食べられそうな物をおかずにしていました。そうだ肝心のご飯のことを忘れてました。日本では白米ですが、何かくすんだパサパサのご飯で今の日本ではまずない米以外の異物が入つてゐることがたまにあります。噛んでゐるときにジャリツとくることが何回かありました。それでも中国人の人たちは、きれいに平らげるのですから食文化の違いと言つてはお困柄を感じます。私も最初の1ヶ月くらいはお腹の調子がおかしかったですが、自分で食べられる物以外はできるだけ遠慮するようにしてからは体調も良くなり日本に居たときより体重も増えました。最近中国の食品(冷凍餃子等)で問題が大きく報じられていますが、我が日本でも食品の偽装が次から次へと出てくるのですから、人口も多く、国土も広大な中国の事ですからこれからも色々な事があるとは思いますが、日本にとつても中国なしではやっていけないのですから問題の早期

解決を望んでいます。中国びいきの私にとつては残念でなりません。今後も奥の深い中国を探検したいと思つています。それでは再見

### 支部スケジュール

千代田支部

支部会 3月6日(木)

総会・支部会 4月7日(月)

支部会 5月7日(水)

中央支部

支部会 3月10日(月)

文京支部

支部会 3月10日(月) 遠東飯店

支部総会 4月13日(日) 箱根水亜明荘

支部会 5月8日(木) 寿し常

台東支部

支部会 3月に予定

支部総会 5月に予定

荒川支部

支部役員会 5月22日(土)

支部総会 5月13日(日)

足立支部  
支部会 3月19日(水)

山手支部

評議会 3月1日(土) 鮎やなぎ  
支部会 3月18日(火) 鮎やなぎ  
支部総会 4月19日(土) 鮎やなぎ  
支部会 5月19日(月) 鮎やなぎ

城南支部

支部総会 5月10日(土)

江墨支部

支部会 3月20日(木)  
4月12日~13日 親睦旅行  
支部総会 5月20日(火)

城北支部

支部会 3月14日(金)  
支部総会 4月11日(金)  
支部会 5月9日(金)

「第52回 通常総会」

平成20年5月21日(水)  
上野「精養軒」

「60周年記念行事の開催」

平成20年10月24日(金)  
上野「精養軒」

お知らせ

〔3月会議・催事予定〕

3月3日(月) 常任理事会 (pm2:30)  
理事会 (pm4:00)  
上野「精養軒」  
3月4日(火) 東リ協リサイクルフォーラム  
講演会 (pm5:00)  
懇談会 (pm7:10)  
ホテル・ラングウッド  
3月5日(水) 共販輸出検討委員会  
(pm5:00) 組合事務局  
3月5日(水) 広報委員会  
(pm5:00) 組合会議室  
3月12日(水) 業務委員会 (pm2:00)  
センター会議室  
3月12日(水) 全原連役員会 (pm3:00)  
センター会議室

3月25日(火) 関東地区委員会

(pm2:00)  
センター会議室

〔4月会議・催事予定〕

4月3日(木) 常任理事会 (pm2:30)  
理事会 (pm4:00)  
組合会議室  
4月10日(木) 清風会ゴルフコンペ  
4月11日(金) 総会資料検討会  
(pm4:00) 組合会議室  
4月15日(火) 会計監査 (pm3:30)  
組合会議室  
4月23日(水) 業務委員会 (pm2:00)  
センター会議室  
4月23日(水) 全原連役員会 (pm3:00)  
センター会議室

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙品の標準売値〕

平成20年2月8日現在

\*新聞 11~13円 (上昇)

\*雑誌 8~10円 (上値上昇)

段ボール 10~11円 (下値上昇)

色上(並) 8~10円 (上昇)

## 計 報

〔古紙品質調査事業〕

平成20年1月～3月価格

〔新聞 古紙〕 15、500円/トン

〔段ボール 古紙〕 16、000円/トン

〔中央支部〕 (有)藤井商店

(代表取締役 藤井保廣 様)のご尊父

藤井 泰雄 様(享年91)

平成20年1月21日(月)ご逝去

## 会議概要 (1月・2月)

1月度定例理事会(平成20年1月16日(水))

出席理事23名 於)組合会議室 P.m.4:00

近藤理事長挨拶

明けましておめでとございませう。昨年来から動きのある事項が何点かあるのをお知らせします。昨年12月14日(金)に当組合の

顧問である松原議員の紹介で都庁を訪問し、産業労働局と環境局の局長さんに直接、お会いする事が出来ました。昨年、斎藤議員が輸出古紙に関税をかける話が出たが、全原連・古紙センター宛に経済産業省より回答が

出たので資料に添付しました。古紙リサイクルアドバイザーと古紙商品化適格事業所の認定制度について新聞の広告媒体を使いPRをする計画がある。外部との会議について

は2月に静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会を上野精養軒で行う。東印工との会議につきましたは、先方の役員改選後の6月以降に開催を予定している。7月は製本工組との会合、9月は東資協との会合を予定している。

10月は60周年の記念式典を予定しており、その他にも海外研修やゴルフコンベンなど沢山の計画がありますので、本年もよろしくお願い致します。

### 〔各部報告〕

#### 〔直納部〕

1月の共販輸出について2社(松本光春商店・ジェーオーピー)の入札で、検討委員会で協議した結果、(株)松本光春商店の提示した入札価格で決定しました。現在、共販輸出事業の新規取引先について検討中である。全般的な市況では、年末、年始であまり変化がない。

〔集荷部〕 集荷部は、2月16日(土)に集荷部会を開催する。市況については、発生が

非常に少なくひどい状態である。今年に入り余計にひどくなってきている感がある。

〔広報部〕 新年号を今週中に発送予定である。次回3月号の打合せを1月30日(水)に実施する予定である。

東り協会の広報誌に当組合の紹介記事が載っている。広報部で原稿を作り宮崎集荷部長に写真の提供をしてもらった。新年号の広報誌と共に送付する。

〔事業部〕 1月26日(土)に合同新年会を控えて準備中である。支部長に積極的に動いていた結果、出席者は本日現在で124名です。受付5時30分、開演6時、マジックショーを6時30分より行う予定。司会は文京支部の大柴支部長で閉会の辞を中央支部の菊池支部長が行う予定である。又青年部には、カラオケのお手伝いをしていただきます。

組合の60周年記念行事について、常任理事メンバーが実行委員となり毎回の常任理事会で内容を検討し実施していく事になりました。期日は10月17日(金)で精養軒他を当っている。又、60周年誌のうち最近の10年間を広報部を中心に作成していくことで準備を始めています。

〔青年部〕 2月22日(金)～23日(土) 四国の大王製紙三島工場に工場見学に行く予定となった。人数の制限がありますが理事の方でも参加をして欲しい。

〔その他〕

東京協組・全原連役員 4名(近藤理事長・清水副理事長・坂田常任理事・工藤常任理事) 監事1名(高山常任理事)

新組合員加入申請について: 足立支部 近藤紙業(近藤利一) 承認で平成20年2月1日より加入。

古紙センター

関東地区委員会 (平成20年1月21日月)

p.m.4:00 於) 古紙センター会議室

〔需要動向〕 07/12月 単位トン、

( ) は対前年同月比、在庫の( ) は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

仕入	95、	588	(95.4%)
出荷	92、	462	(95.2%)
在庫	11、	734	(12.7%)

〔雑誌〕

仕入	65、	763	(96.9%)
出荷	61、	221	(96.0%)
在庫	10、	697	(17.5%)

〔段ボール〕

仕入	147、	362	(98.2%)
出荷	139、	985	(97.0%)
在庫	16、	817	(12.0%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕

入荷	229、	608	(103.9%)
消費	235、	546	(106.3%)
在庫	171、	843	(73.0%)

〔雑誌〕

入荷	122、	137	(98.9%)
消費	112、	920	(97.0%)
在庫	56、	227	(49.8%)

〔段ボール〕

入荷	299、	140	(101.7%)
消費	276、	515	(102.6%)
在庫	116、	210	(42.0%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕 新聞は、昨年、チラシを含めた配達量が前年対比97%で本文のページ数が少なかった。これは回収量とほぼ比例して

いる。1月も前年と比べると98%で、あまり増えていない。チラシは、昨年対比97%でマンション配布用のチラシが落ちている。又、スーパー関係も落ちている。1月の回収量は期待できない。全体に紙の消費に元気がない。雑誌は、出版関係が大不況のため激減している。

〔段ボール〕 段ボールは、非常に低調である。12月は28日で終わったこともあるが32社のシェアが少なくなってきた。色んな業種が参入してきている。メーカーの入荷状況もあまりかわらないようである。

輸出は11月から少なくなってきた。メーカーが価格対応してきた事も関係している。新聞は昨年後半から海外へ出る量が減ってきている。輸出は昨年、一昨年並みである。

〔メーカー側コメント〕

新聞は、12月とも言えども季節感がなくパツとしない。1月に入って、現時点ではまずまずの入荷状況である。昨年11月まで回収量98.9%と何とか使用増で頑張っている。全体的に古紙の発生が底冷えとなってきた。

段ボールの12月の発生状況は、日数が前年と比べ1日分少ないが、結果的に前年とほぼ同じであった。実感としては、あまり良くな

い。年末年始の休みが長かったので前倒しで取っていたのではないかと。二月はマイナスになるのではないかと感触がある。段古紙の12月の入荷ペースはだいたい計画どおりである。原紙の出荷が若干、滞ったことで在庫はプラスになった。二月は中旬、順調で下旬にダウンしているが、全体的には、ほぼ計画どおりである。

古紙センター

業務委員会（平成20年1月25日（金））

pm1:30 於 古紙センター会議室

〔1〕古紙の需要・市況動向について

紙面の都合で割愛させていただきます。

〔2〕平成20年度国庫補助金(内示)について

〔3〕平成20年度事業計画案について

〔4〕集団回収実施団体への感謝状交付について

〔5〕エコプロダクツ2007への出展の報告について

2月度定例理事会（平成20年2月6日（水））

出席理事31名 於 組合会議室 pm4:00

近藤理事長挨拶

1月26日に東天紅で123名が集まり合同新年会を盛大に行い、役員の方にご協力いただきありがとうございます。

1月31日に古紙リサイクル推進懇談会に出席いたしました。各省庁、東資協、各消費者団体、製紙連合会等が集まり会合を行いました。再生紙偽装問題で意見が交わされましたが、後ほど全原連から会議内容についてのレポートがまいりますので、詳細については掲載時にご覧ください。今月は、直納部が東京で静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会を行い、青年部では四国の大王製紙三島工場の研修見学会があり、忙しい月となりますが本日もよろしく願います。

〔各部報告〕

〔総務部〕

原料会館の地代の支払は昨年末に支払が済んでいます。次回、30年後の更新の際に契約を取り交わすので、契約書を作成中です。契約が終了しましたらご報告いたします。

〔直納部〕

古紙全般は、年が明けてすべての流通在庫を多目にとっている。共販輸出につきましては、引き続き2月も上昇し順調である。中国の旧正月明けの影響が懸念されましたが順調

である。オリンピック明けまでは、この状況で推移していくのではないかとの見方である。家庭紙については、価格修正後、メーカーでは、スポット価格で対応しているようである。家庭紙については、8日の集直委員長会議、12日の直納共販合同委員会の中で、19日の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会の対応策や戦略について話し合いたいと思っている。家庭紙原料の発生は相変わらず低く、出版・印刷業界も不況である。

〔品種別市況報告〕

〔上白〕 発生と市況に関しては変化なし。

〔家庭紙〕 発生が低い。スポットでどう出していくか。

〔新聞、雑誌、切付〕 新聞、雑誌は12月に価格がもちなおし輸出は高値である。数量的には売りに困らない状況である。現在は、発生が良くない。

〔切付〕 発生低調の状況。需要は旺盛でかなりタイトな状況が続いている。

〔段ボール〕 12月は国内メーカーが買っており入荷は順調であった。輸出は、微量であるが前年割れであった。ヨーロッパから来る物の海上運賃の値上げ、アメリカも同じでアメリカからの農産物用にコンテナが取られてい

る。アメリカ、ヨーロッパからの古紙が少なかったため、買いが多く出ていて価格は急騰している。段古紙は、発生期にあたる4月、5月に出てくるのではないか。

〔上台紙〕 発生が悪い。

〔返本雑誌〕 出版不況によりノリなし雑誌のコート紙の量が極端に減っている。ビニール雑誌は洋紙メーカーが積極的に取っている。本年は雑誌の販売は、さうとう厳しい状況になるのではないか。

〔オフィス古紙〕 12月、1月にかけて発生は多少あり在庫もできた。2月に入り発生が少ない。3月、4月には発生時期になるのでオフィス系が出てくるのではないか。

〔集荷部〕

2月に入り家庭紙原料の価格修正が動いているようであるがスポット価格のようである。2月に入り発生が悪い。

2月16日(土)に集荷部会を開くので集荷の方は参加してほしい。又、2月19日の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会のほうも参加してほしい。

〔広報部〕

先日、広報の3月号の打合せをしました。原

稿を2月20日頃に集め、3月20日頃に発送する予定である。

支部長にお願いは、これから2ヶ月の支部の予定を文書で提出していただく。又、昨年、永年勤続の表彰を受けた会社の方に原稿を書いてもらい掲載をしていきたい。文書で依頼を出す予定です。ホームページの更新に向けて準備作業をしている。

〔事業部〕

1月26日(土)に東天紅で合同新年会が盛大に行なわれまして、皆様にはご協力をいただきありがとうございます。当組合の60周年行事が10月24日(金)上野「精養軒」で実施される事に決まりました。記念史を50年から60年の10年間分を出す予定です。支部長にはご協力いただきたい。

〔青年部〕

四国の大王製紙の工場見学研修は、人数制限があり青年部有志と理事の希望者による24名で実施する事となった。

〔近代化推進事業委員会〕 経営革新より…

古紙適格事業所のプレートが出来たので認定書と同時に送付予定である。

### 集真正副委員長会議

〔平成20年2月8日(金)〕

出席委員14名 於) 組合会議室 pm4:00

1. 直納部

東京協組の2月共販輸出は価格が上昇し順調である。中部商組の輸出でも中国、タイが買っており、関東商組でも段ボール・雑誌は価格修正し新聞も順調である。国内メーカーの買いにより輸出量が若干落ちた。北京オリンピックまでは裾物は、このまま順調に推移するのではないか。

古紙の配合率偽装問題については、古紙の配合率自体が古紙の品質を左右するのではないか。

〔上白〕 輸出は量的に少ない。使うメーカーが少なくなってきた。発生がにぶくタイト感が出てきている。

〔切付〕 メーカーの買いは、そこそこである。発生したものは相当バラツキがある。価格についてもバラツキがある。

〔新聞・雑誌〕 相変わらずタイトである。

〔ダンボール〕 出版・印刷の不況が続く、スポットで対応している。

〔返本・雑誌〕 1月の返本、雑誌は昨年対比

で87%で、発生は13%落ちている。ピンコート（フライディ・フォーカス等）の落ち込みが激しい。ビニール表紙の用紙は発生ベースで増えている。週刊誌、ノリ付雑誌は前年より落ちている。発生が低調である。返品率は上がっているが、週刊誌の発行部数が落ちてきており本離れの傾向にあるようである。

〔家庭紙〕 発生が悪く回復の兆しがない。メーカーからの要求は強く、一部スポット価格で問屋が動いている。

製品在庫は非常にタイト。メーカーは製品欠品だけは出したいくないが古紙がない状況。家庭紙古紙は洋紙古紙化している。今後、家庭紙古紙は全体的にオフィシャル化していくのではない。

2. 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会にむけて

○出版、印刷が悪い点等の状況説明をする。

○組合の共販価格も参考価格として伝える。

○集荷の現状を伝える（選別にかかるコスト等）

○分別により品質の向上をしていく点を伝える。

#### 直納部共販合同委員会

〔平成20年2月12日（火）〕

出席委員18名 於）組合会議室 pm4:00

1. 共販輸出について

6日の共販輸出協議委員会で協議に結果、2月度は、前月よりプラス1円高で（株）ジェーオービーに決まりました。

3月より阪和興業（株）が新たに入札に加わり、既存の3社と合わせ4社での入札となった。

ケントの扱いで輸出先がフィリピン、ベトナムにも広がり、価格については国内価格を上回る価格となってきた。共販輸出の参加者をつのりたいと考えている。

2. 市況全般について

全体的に年明けで極端に発生が少ない。品については在庫がなく、輸出の影響もあり、国内でもスポット価格が出ている状況である。

家庭紙原料は発生が少なく、製品の価格修正がどのくらいできているのか。15%か20%ぐらいではないか19日の会議で確認したい。

#### 3. 各品目別

〔上白〕 国内メーカー、輸出とも引き合いは非常に強い。発生が少なく在庫も持っていない状況が続いている。

〔色上〕 家庭紙、オフィス古紙がパツとした。産業古紙が非常に低調である。1月明けは家庭紙メーカーに納入されたが、2月に入ってから納入ベースが悪くなってきた。古紙に対する納入依頼が後をたたない状況である。

洋紙メーカーの納入ベースも非常に悪かった。発生そのものが低調で、2月に入っても増量する気配がない。

未納、キャンセルはなくなっていないが、1社あたりの量が軽い状況が続いている。発注量に対して多く要求してくるが、答えられない状況が続いている。

最近模造、ケントよりも、込頁を多く引つ張りたがっている傾向がお互いにある。これはケントの品質の問題もあるのだが、白色をえるためには模造、込頁がいいと言う家庭紙メーカーが見受けられる。白色を得るために薬品を増やしたり、変えて工夫して家庭紙メーカーも見受けられる。発生の低下が月も推移していくと非常にきびしいタイト感が表に出てしまう状況となるのではない。

家庭紙メーカーは、価格面で今後、どうなるのか心配している。3月、4月にどの程度の発生があるのか。結果によって動きがあってもおかしくない状況になるのではないかと。

〔切付・新聞・雑誌〕 切付は同状態。新聞、雑誌は堅調。1月は良いが2月は発生が悪く納入はパツとしない。雑誌も同じである。

〔段ボール〕 輸出価格が国内メーカー価格を決めている状況。2月は、どこのメーカーも良くない。

〔返本・雑誌〕 出版、印刷、製本は不況。発生が悪く仕事が廻ってこない。返本の数量は出版の落ち込みほど悪くない。

発行部数を絞っても、ある程度、返品率は上がっているが、返品量は除々に下がっている。禁忌品が非常に多くなってきている。

〔オフィス古紙〕 発生は減っている。東京23区の発生ゴミの内、45%が紙ゴミである。集団回収でもシユレッダー、オフィス古紙がかなりの量入っている。

〔上台紙〕 雑誌と比較して発生量は少なく感じきれない。価格は輸出価格に引つ張られている。台紙も雑誌に代わって出て行く。

古紙センター

関東地区委員会 (平成20年2月25日(月))

pm2:00 於) 古紙センター会議室

〔需要動向〕 08/1月 単位トン、

( ) は対前年同月比、在庫の ( ) は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

仕入	78、734 (95.4%)
出荷	81、826 (97.4%)
在庫	8、642 (10.6%)

〔雑誌〕

仕入	58、759 (95.6%)
出荷	61、045 (95.7%)
在庫	8、411 (13.8%)

〔段ボール〕

仕入	123、047 (100.8%)
出荷	128、670 (101.1%)
在庫	11、194 (8.7%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕

入荷	212、152 (108.4%)
消費	225、629 (104.3%)
在庫	158、366 (70.2%)

〔雑誌〕

入荷	113、361 (94.4%)
消費	106、678 (98.6%)
在庫	62、910 (59.0%)

〔段ボール〕

入荷	263、048 (104.3%)
消費	244、126 (92.5%)
在庫	135、132 (55.4%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕 新聞発行数が昨年対比で98%に落ちている。チラシも93%に落ちている。原因は、建築基準改正法で建築関係のチラシが減ってきているため。2月もチラシの発生は良くない。3月は例年だと増えるのだが今年は、落ちるのではないかと。新聞は発生量が限界にきているのではないかと。

雑誌については、出版の売上が落ちてきている。昨年対比97%と減少傾向にある。今年も、いい材料がなくこの傾向が続くのではないかと。

〔段ボール〕 段ボールは、入ってきてもすぐ出てしまう。輸出は昨年対比99・6%と後半少なくなってきた分、若干落ちた。

1月は在庫がない状態。中国の冷凍餃子問題でスーパーでの売上がよくない。段ボールには経済活動の状態が、そのまま現れる。スー

パーに仕入が多くなれば消費も多くなる。1月～2月にかけて回収が少なく、経済活動が低調である。

〔メーカー側コメント〕

新聞は、1月は入荷が昨年対比83%で消費は85%、在庫は92%で特に過不足感はなかった。在庫は各月とも平均26,000トン多く、発生状況をしながら上手な利用をしていく。

段ボールは、1月は仮受の反動、地域差の関係で低調(98～99%)である。関西、東北が低調。2月は段原紙の在庫があり出荷が低調。

1月と同じように前年対比を割るのではない。段古紙は、1月を引きずるかたちで各メーカーとも順調なペース。2月は全体的に前年に比べ低調。メーカーは生産が低く、計画の中で推移していくのではない。段ボール減産の傾向は続くかもしれない。

## 編集後記

広報副部長 高橋 宏明

3月号は新年号の後なので、打ち合わせから発送に時間のゆとりがありました。ページ数が何ページになるんだろうかと少し心配をしました。また、次号5月号は総会後の発送予定なので少し遅れるかとおもいます。

さて、広報部では広報誌を現在のB5判の縦書きから、一般的な流れになっている用紙サイズの「A4判」の横書きに変更をしようと検討中です。サイズをA判にする事によって、文字も少し大きくでき読みやすくなるのではと考えています。ただ個人的には、横書きも良いですが、縦書きでも良いのではないかと思っています。何故、横書きが一般的な流れになっている中で縦書きが良いかと思っただかと言いますと、国語の教科書や新聞紙・週刊誌・小説などもほとんどが横書きではなく縦書きで書いてあるからです。

それは、新聞や週刊誌などは縦書きの方が読みやすい(教科書は別)からではないで

しょうか？縦書きの文章は日本の文化でもあり、他の広報誌とも違い個性があつて我が広報誌もそういった意味でも気軽に読んでいただきたいと思います。

自分は、「横書きの方がいい。」「縦書きの方がいい。」と言ったご意見などがありましたら是非、組合広報部に連絡を下さい。

また組合員の皆様には、ご意見のほかにもし思い思いの気持ちを原稿に気軽に書いてもらいたいと思います。ご協力のほど宜しくお願いします。